

上牧町地球温暖化防止実行計画（事務事業編）結果公表

当町では地球温暖化対策として、「上牧町地球温暖化防止実行計画（事務事業編）」を令和 5 年 3 月に策定しました。

実施期間は令和 5 年度から令和 12 年度までの 8 年間で、町の事務事業から排出される温室効果ガス【二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）】を 令和 3 年度比で 31.1%削減することを目指しています。

この度、令和 5 年度の実施結果を取りまとめましたので公表します。

1. 令和 5 年度の結果

令和 5 年度に排出された温室効果ガスの総排出量は 1,604t となりました。これは令和 3 年度（基準年度）の 1,093t と比較すると 約 46.7%増加となり、令和 4 年度の 1,540t と比較すると 約 4.1%増加となります。

2. 総評

温室効果ガスを令和 12 年度までに令和 3 年度比で 31.1%削減することを目指しているなか、年々増加している現状です。

主な要因として、教育機関でのガス空調設備導入が挙げられます。また、令和 3 年度の文化センターにおける電気使用量に算出誤りがあったことから、令和 3 年度の温室効果ガス総排出量が極めて低く設定されています。

なお、当町で排出される温室効果ガスは、令和 3 年度と同様に令和 5 年度においても電力の使用に起因するものが最も多く、約 75.9%を占めています。電力の使用に起因する温室効果ガスの総排出量を減らしていくためには、電力使用の抑制のほか、再エネ電力の調達や設備機器の効率化などが挙げられます。

具体的には、空調温度を夏は高めに冬は低めに設定する、不必要な照明は消灯する、高効率照明（LED 照明）を積極的に導入する、電気自動車や低燃費車を購入するなどの取組を推進していきます。

令和 5 年度事業としては、役場本庁舎及び片岡台 3 丁目コミュニティセンターの照明器具を LED 照明へと更新しました。また、持続可能なまちづくりの取組みの一環として有効な電気自動車の普及を推進するため、役場本庁舎駐車場内及び保健福祉センター（2000 年会館）駐車場内に電気自動車急速充電設備を設けました。

※高効率空調設備

少ないエネルギーで大きな冷暖房能力を発揮する空調設備のこと。

エネルギーコストを大きく削減できるため、省エネ性能が高く、電気代の削減が見込まれる。

3. 温室効果ガス総排出量

(単位：t)

	令和3年度 (基準年度)	令和4年度	令和5年度
電気	664	1,175	1,218
都市ガス	221	153	168
軽油	75	86	91
プロパンガス	71	60	61
ガソリン	62	65	67
灯油	0	1	0
A重油	0	0	0
合計	1,093	1,540	1,604

※温室効果ガスの排出係数は二酸化炭素 1、メタン 25、一酸化二窒素 298 で算出しています。

(単位：t)

